

## 4-2 自然環境調査

### (1) 水系図

対象地域内の水源から集落まで、水のゆくえを調べます。地域によっては、飲料水を井戸に頼る地域もあります。水源とともに、井戸も調べます。

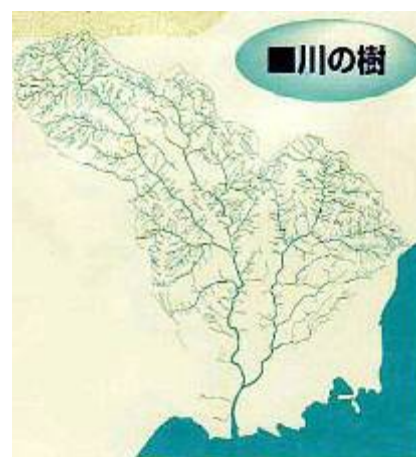
屋外の簡易水道の水栓や井戸の周りには、炊事道具等、暮らしに関わる道具や食文化に関わるさまざまな道具を見つけることができます。

地域全体では、どこの水が冷たいのか、どこに生きものが多いのか、水源の周りの山菜などを調べることで、日常生活と地域の地図が一体になっていきます。

対象地域の白地図を用意し、川や水路を青色等で塗ることから調査を始めます。



福井県越前市黒川地区の地域資源マップ作成作業



「水のある風景みなまた」水俣市「川の樹」



水路を記入する地元住民と外部者



住民自身が地元の地形と風土を再確認する

## (2) 植生図

水系図作成と同時に、広葉樹、針葉樹、竹林等の現在の状況を把握し、白地図に書き込みます。植生の区分には、管理された林と荒廃した林の区別も書き込みます。

水源とその周囲は詳細に記載し、水源地への配慮の有無を確認します。

地域によっては、詳細な植生の区分を、下記のインターネットサイトで確認することができます。実際の調査の際に、参考にしてください。

「J-IBIS 生物多様性情報システム／トップ／地域の自然を調べる」

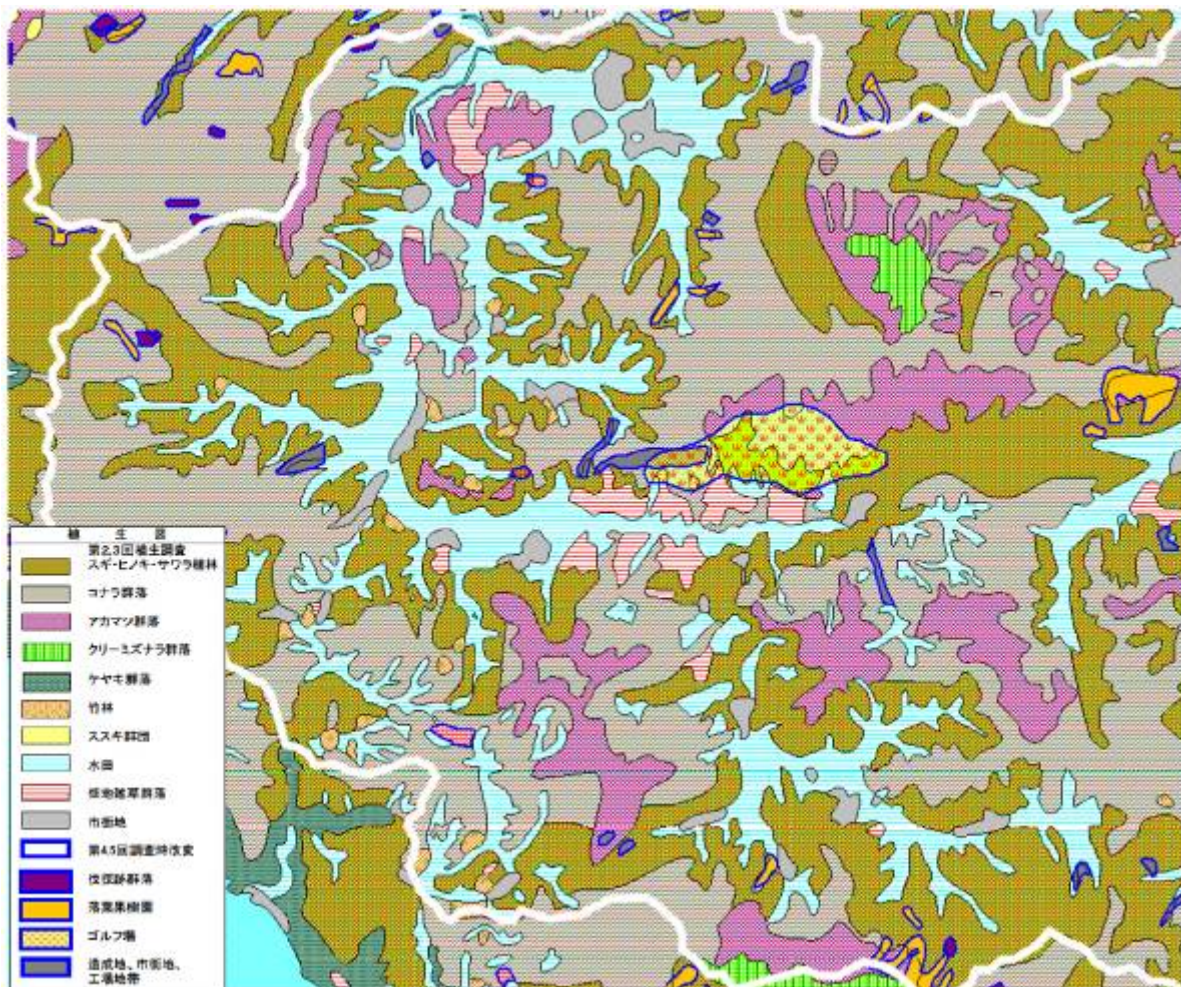
第3回・第5回植生調査 [http://www.biodic.go.jp/kiso/map/survey\\_map\\_f.html](http://www.biodic.go.jp/kiso/map/survey_map_f.html)

一部の地域においては、第3回・第5回植生調査よりくわしい調査結果があります。

第6回・第7回自然環境保全基礎調査 植生調査 情報提供ホームページ

(環境省 自然環境局 生物多様性センター 調査課)

<http://www.vegetation.jp/index.html>



(例) 福井県越前市の閲覧例

### (3) 生きもの調査

水系図で調査範囲を決めて生きもの調査を行います。里地里山調査の地域資源カードを活用します。

生きもの調査は、環境省の自然環境基礎調査の結果等を参照した上で、生きものにくわしい地域の方を中心に専門家などの協力、子ども達や小中学校、高校や大学等からも参加を募ります。現在いる生きものだけでなく、どこにどのような生きものが季節ごとに見られたか、植生や環境がかつてと今とでどのように変わっているかについても調べます。地域資源カードを活用して、復活させたり、守りたい生きものについて意識を共有します。

生態系を蘇らせることに主眼を置いたビオトープづくりなどの計画づくりを想定する場合等、必要に応じて特定の生物あるいは生物群についての事前のモニタリング調査を行います。個別の生物(群)についての、調査方法は、7. モニタリングを参照してください。

#### 環境省の自然環境基礎調査

「J-IBIS 生物多様性情報システム／トップ／地域の自然を調べる／動植物分布調査」

[http://www.biodic.go.jp/area/area\\_frm.html](http://www.biodic.go.jp/area/area_frm.html)

自治体や近隣の研究機関が詳細な生物調査等を行っている場合がありますので、事前にこれらの調査結果がないかどうか探しておきます。



福井県越前市 水辺の生きもの調査の様子



各自見つけた生きものをもちよって皆で観察しその場所の生物相を確認